

令和 3年度 学校関係者評価実施書（まとめ用）

学校番号	56	学校名	掛川東高等学校	記載者	伊藤 裕司
------	----	-----	---------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	自律と自立の力を育成するため、高い規範意識と、人としての高い品性を涵養する	<ul style="list-style-type: none"> ・「自律」と「自立」を意識した行動ができたと答える生徒の割合 70%以上 ・「気持ちのよい挨拶、制服の端正な着こなしができた」を肯定する生徒 95%以上 ・「交通マナーを守って登下校している」を肯定する生徒 90%以上 	A	A	<p>新制服決定の過程での生徒の意見の尊重等、意識の高さがうかがわれた。</p> <p>自主性の高い生徒指導に期待している。</p> <p>交通マナーに関しては、生徒の自己評価と外部（地域住民等）の評価に乖離があるので、改善をさらにお願いしたい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・「清潔な教室にするようところがけた」を肯定する生徒 95%以上 	A	A	<p>来校時、校内に清潔感を感じる。本校の誇りの一つである。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導前にポートフォリオが作れた生徒 75%以上 	B	B	<p>「教員の指導前に」という意図と実態がよくわからない。</p>
イ	主体的に学ぶ習慣を確立し、社会の変化に柔軟に対応できる教養を身につける	<ul style="list-style-type: none"> ・授業がわかり、学力が伸びていると感じる生徒 75%以上 ・「週5日以上自主学習に取り組めた」とする生徒 60%以上 	A	A	<p>「主体的に学ぶ」とことと「授業がわかる」とことの整合性がややわかりにくい。</p> <p>自主学習について、経年変化で大きく上昇していることは大きな成果である。</p> <p>将来を見据えた学習意欲を持ってほしい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・学習方法、学び方の改善を生徒に提供した教員 75%以上 	A	A	<p>教員の学び方改善に向けた工夫が伝わってくる。</p> <p>ICTの活用を更に進めてほしい。</p>
ウ	社会の中で働く自分の理想像を見つけ、自己の可能性に挑戦する進路を探究する	<ul style="list-style-type: none"> ・「本校の進路指導に満足している」とする生徒 80%以上 ・大学等の研究（資 	A	A	<p>多様な進路希望に対応したきめ細かい指導をしていることが評価できる。</p> <p>学年が上がるにつれて満足度が下がる傾向にあるが、それをどう</p>

様式第5号

		料、HP等視聴)を行った生徒75%以上 ・進路相談、小論文、面接指導等に関わる教員100%			分析するか。 全教職員が同じ意識で、かつ、多様な手法で実践して欲しい。
エ	集団の中で切磋琢磨し、自他を認め合えるたくましい心身と豊かな感性を育成する	・「学校生活に満足している」とする生徒90%以上 ・「学校行事、生徒会活動、部活動のいずれかに積極的に参加できた」とする生徒90%以上	B	A	行事の様子や部活動の活躍を見ると、生徒の学校生活への満足感や充実感がうかがわれる。 コロナ禍の制約下としては、高い数字ではないか。
		・「信頼できる先生がいる」とする生徒80%以上	A	A	学年が上がるにつれて減少していること、昨年度と比較して低下していることが気になる。
		・各種たより等による生徒・保護者に情報発信12回以上	C	C	目標値と実態との隔たりに目標設定の再検討の必要性を感じる。
		・「日常の生活の中で、各自の役割を果たし、人のために行動できた」とする生徒80%以上	A	A	生徒一人一人が学校スローガンを意識できていることは素晴らしい。 他者を意識しそのために行動できるところは評価できる。
		・「読書が好き」という生徒80%以上	B	B	読書離れ、デジタル化の中で76.5%は評価に値する。 図書館活動も良く貢献している。
オ	学校外との連携を大切にし、安心・安全で信頼される学校改善を行う	・「進んでボランティア活動に参加できた」とする生徒50%	B	B	ぜひ積極的に地域等に関わってほしい。 活動機会自体が減っているのではないか。
		・PTA総会、地区会等への参加率75%以上	B	B	Withコロナを考えた時、直接来校以外の方法も必要ではないか。
		・学校配信メールの世帯登録100% ・ホームページ等で情報発信を行った教職員75%以上 ・「掛川東高校の教育に満足してい	B	B	「開かれた学校」「地域と連携した学校運営」が標榜される中であるが、性急を問わず「生徒」を念頭に本来業務に専念したうえでの連携活動が大切である。保護者の声の中で、指導の在り方や情報の伝え方に関しての不満も見ら

様式第5号

		<p>る」との回答 75%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外の個人・団体と関連する教育活動をした教員 75%以上 ・「学校に信頼できる先生がいる」とする生徒 75%以上 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の事故発生件数ゼロ ・施設に関する事故発生件数ゼロ ・監査等の指示・指摘事項ゼロ 			<p>れるので、大切な課題だと思う。総体的にはよく頑張っているが、発信の仕方や見てもらう工夫がさらに必要である。ホームページや配信メールを利用している保護者が多くいることに安心した。</p>
カ	生徒、教職員が、活力ある学校生活を送ることができる環境を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・「下校時刻を守ることができた」とする生徒 80%以上 	A	A	よく徹底されている。暗闇の中を帰る生徒に時々会うことがある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・授業等の始業・終業、遅刻者ゼロを目指す。 ・定時退勤できた教職員 80%以上 ・趣旨を踏まえ活動できた教員 100% ・負担感、多忙感が改善されたと感じる教職員 60% 	B	B	<p>時間に関する考え方・心構えがとても良い。教職員の「疲れ」は生徒にも反映されると思う。気をつけていきたいところである。</p> <p>「働き方改革」の一環として、週1回の定時退勤や負担感改善は、管理職が率先してぜひ引き続き努めてほしい。</p>